

平成26年1月19日
ひよこの会
にじと風福祉会 会員60部

平成26年 新春餅つき大会報告(第14回)

1. 日時 平成26年1月12日(日)、11:00~15:00(V・職員は 9:00~17:00)
2. 場所 にじと風、バラ園通り通路
3. 参加者 合計89名
利用者: 沢崎(2) 白柳(3) 木浪(4) 岩本(2) 佐々木麻(2) 小野(3) 在原(1) 須藤(2) 林政(1)
吉野(3) 半田(3) 萩原(2) 小川(2) 齋木(5) 青柳(1) 且(1) 小島翔(1)
佐藤(1) 中村結(5) 重松(1) 鶴飼(2) 伊藤(3) 鈴木(3) 高橋拓(1)
玉岡(1) 石渡(2) 内田(2) 59名
ひよこV: 小酒、中島 2名
V : 小酒、石渡、斉木、木浪、皆川、須藤、萩原、佐々木、沢崎、吉野 秀明学生6 16名
職員 : 吉野、金澤、石川、荒木、大野、坂詰、原、密本、三野宮、小野、近藤、小山 12名
来場者 : 近隣の方々 名

4. 趣旨

- ・にじと風の新年を、お餅をついて食べながら祝う。
- ・利用者、V、職員、地域住民との親睦を深める。

5. 前日準備 職員がおこなった。

- ・18:00~21:00
- ・米とぎ(30kg) 12回分 (2.5キロずつに分ける)
- ・備品、食材の搬入
- ・施設内の片付け、シート張り
- ・臼、杵を水に浸す

6. 当日の流れ

- 9:00 V・職員集合
餅つき準備、レイアウト(かまど、せいろ準備) 食材用意
看板、飾りつけ
- 10:30 最初の餅つき(きなこ、あんこ、おろし、納豆、お供え)
- 10:30 利用者集合
会食、歓談
子ども等による餅つき、12回
- 12:00-13:00 休憩 書初め 餅つき延長のため書初めも延長して行った
- 16:00 餅つき大会終了。 後片付け、反省会 解散時刻延長15:00から16:00に変更
- 17:00 解散

7. 経緯

- ・10/下旬 日時決定
- ・12/~ 備品調達手配、打合せ
臼・杵等一式をはばたきから借用予約(1/7: 金澤、吉野)
参加者決定、ひよこV小酒さんとの調整
- ・1/10 近隣にチラシ配布、50部(利用者・職員とで)
- ・1/10. 11 前日準備(職員) 野菜等購入
- ・1/12 当日 写真現像
- ・1/14 翌日片付け、借用品を返却、礼状発送7件
- ・1/20 報告書作成、 配布 礼状発送7件

8. 反省等

- ・昨年よりスムーズな当日であった。前日の準備が十分できていた。
- ・前面道路なので危険、歩道の自転車通行も要注意。ケガもなく終了した。
- ・今年も父親の参加があり男手があった。
- ・蒸かしのみ外で実施、餅は施設内でついた。天井蛍光灯移動1本取り外し忘れた
- ・子ども達で作った飾りが可愛く、華を添えた。
- ・薪・炭等は前日までに在庫確認しておいた薪が足りた。
- ・材料の調達も職員が実施、今年のもち米は30k
- ・その他にも多くの差入れあり。(お菓子、あんこ、(沢崎祖母より)

- まき アースホームより寄付、有本寄付
もち米 八街にて購入無農薬有機栽培 価格は高いが美味しい
- ・書初めを貼る付ける台紙の作成方法がわからず応急的な物になってしまった。
準備段階で習熟の要あり
 - *持ち帰り用をはじめにつくり準備したのでばらつきがなかった。
 - *仕切りのボランティアさんが欠席であったが、父とボランティアさん職員の協力、記憶で手順等間違えず実施できた。負担が掛ってしまった。齋木さん父が大変よく手伝って下さった。
 - *うす杵蒸かし蒸籠釜は例年通りはばたきより借用。次年度以降どうするか。
 - *朝の打ち合わせ時にボラ職員の呼称、自己紹介が必要。
 - *昨年より20名増加。
 - 保護者参加直接声掛けにより増加
 - *人手が足りづ、利用者にもマンツーマンの対応は出来なかったが、施設内・餅つき・外での役割分担ができていた為無事に過ごせた
 - *外の火守がさむくて大変だった(ボラ)
 - *普段お世話に為っているボランティアさん関係者と1年に1度お祝いできるのは大変幸せで有る。
 - *今年是一般参加者あり数名
 - :*近隣につきたてのお餅を配る 10件 (うち1件不在)
 - *お餅の量が多かったので、家族に1パック持ち帰り分ができた
 - *高校生も書き初めをしたかったと言っていた 高校生の分のお手本必要
 - *お酒、1升びん2本ではなく、小さい(700ml)のを3本の方がいい
 - *いもをふかすのは、最初のうちから準備し、早めにふかし始めた方がいい
餅を食べれない子どもでも食べ物がある方がよい
 - *今年進行表作成あり。
 - 前日に詳細打ち合わせ必要
 - *2段の蒸籠のサイズがそろっていなかったので取扱いに苦勞した。若い職員は扱いや手順等全く経験がなくまた、知識がないことによる自己研修もない。
 - *利用者に対する個別対応に就いて。
 - ①個別対応を要する利用者の平常担当者欠勤による補完は困難であった。
 - ②再調理を要する利用者1名への対応は職員実施
餅にしない状態のもの(蒸かしたもち米をミキサーにかける)を提示した。
問題なく摂食出来た。

9. 会計報告

金額単位:円

収入		支出	
ボランティア参加費	1000	材料費	0
	2名分	手土産	0
寄付	5000	備品	0
にじと風 行事補助	-1000	DPE	0
		通信	0
		印刷代	0
合計	0	合計	0

参考予算

収入		支出	
参加費	0	材料費	50000
行事補助	100000	借用謝礼	5000
		薪等	30000
		その他備品	10000
		チラシ印刷	5000
		予備費	0
合計	100000	合計	100000

注
材料備品DPEでの寄付が多かった分
どうしてもお礼が多くなった。
でもありがたかった。